

慶雲寺報

NEWS

* 八ちに注意

お盆に向けた境内作務中、八ちに遭遇することが多くありました。住職、2度ほど刺されました(泣)。今年も活動が活発な模様です。お墓掃除・お参りの際、十分お気を付け下さい。



* お盆あれこれ

盆提灯

提灯の火を目印にご先祖様がお戻りになるといわれています。お墓の行き帰りに提げてご先祖さまをご案内しましょう。オレンジに熟したほうずきのお供えも、提灯を模したものと言われています。

13日に気持ちよくご先祖様をお迎えできますよう、各家のお墓やお仏壇の清掃等ご準備いたしましよつ。

ご先祖様のおられない墓地区画も、雑草の種子が他へこぼれますので除草をお願いします。

尚、お墓参り/墓地清掃の際は、これまでに引き続き、ゴミの持ち帰りにご協力いただきますようお願い申し上げます。

* 教区主催 大本山永平寺参拝旅行

6月21 22日。第1教区主催による永平寺への参拝旅行が勤まりました。慶雲寺からは住職含め7名が参加。

ご本山で精進料理の昼食・拝観・先祖供養の後、山中温泉で一泊。二日目は、金沢市内で観光とショッピング。テレビでよく紹介される 金沢21世紀美術館 は、遊び心満載の現代風展示が数多くあり、とても楽しめました。

長距離のバス移動ではなく、往復とも北陸新幹線を利用することで快適な旅となり、参加者からとても好評でした。

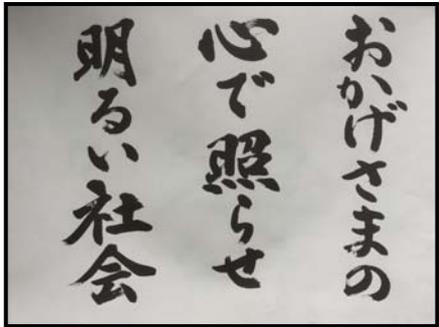
* 7/27 慶雲寺子供坐禅会 報告

早いもので、今年で第9回の開催となります。毎年恒例となりました慶雲寺こども坐禅会。31名の小学生の参加を得て、厳しさの中に楽しさありの夏休み始まりの1日を過ごしました。自分と向き合いながら真剣に坐禅に取り組む姿勢、リラクスムード時の無邪気さや笑顔から、主催することを通じて毎年元気をもらっています。お寺で学んだメリハリを胸に、充実した夏休みとなるよう祈っています。



◎伝道掲示板から

道元禅師さまは「この生死はすなはち佛の御いのちなり」と示しておられます。私たちが生きていくということは、すなわち仏に生かされている



というお示しです。この捉え方を粗末にすると、せっかくのいただいた命を無駄にしまつことになる。と教えは続きます。

私たちは毎日を《生きて》います。特に若い世代は、オレの時間

だ！ワタシの人生だ！との思いが強いでしよう。ですが、それと同時に私たちは《生かされて》いることを忘れては、独り善がりのトゲトゲとした人生になってしまいます。家族、周りの人、見知らぬ人々、さらには目に見えない様々なものから、有り難い「おかげ」や支えをいただいで生かされているのです。「おかげさま」という言葉は、自分ひとりで生きているのではないことを言い表したとても謙虚さに満ちた言葉だと思えます。

このお盆、ご先祖さまに向き合う中で、佛の御いのちに包まれた自分であることを胸に刻みましましよつ。

* 盆柵経について

お伺い予定のお宅には、寺報に添えて別紙予定表をお届けいたしました。

今年も【初盆宅/13回忌までの年忌該宅】へお伺いする形といたします。何卒ご理解をよろしくお願い申し上げます。